

(2025 年度 第 07 回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時：2025 年 10 月 18 日 13:00～14:45

場所：山王集会所

参加：21 名 欠席：3 名（役員：24 名）

【会長】

班長会の際に防火訓練の実施をすることの説明があった。消防署による集会所の立ち入り検査が 9 月 25 日に行われ、消防署より改善指摘された点に対応するためである。指摘された点は、「集会所の消防訓練の実施（要請は 11 月 9 日までに実施して報告する）」と「集会所のカーテンが防災仕様でなかった（指摘後にカーテンを交換した）」。

【会計部】

自治会費の集金状況の報告（9 月時点）。937 世帯（会員世帯総数）のうち、927 世帯から回収（回収率は 99%）。未納は 10 世帯（109,500 円）である。

未納世帯（不在など）の対応については、当該世帯のある班長と協議する（※班長会終了後に会計と協議した）。

【環境部】

全戸一斉清掃については無事終了したとの報告。

清掃についての課題が挙げられた。清掃後の「郷の台公園」では、落ち葉の収集後でも、公園の広場部分に草が膝ほどの高さまで伸びており、鎌などで刈るのが非常に困難である。今まで問題になっていなかったのは、近隣の住民の方（誰かは不明）が草刈りをしてれていた。個人的なボランティアの好意に依存することがないように、自治会主体でその都度ボランティアを募って対応してはどうかの提案が環境部からあった。手鎌では困難なので、草刈り機を利用しての作業となる。望ましい作業の流れは、全戸一斉掃除前に草刈り機で作業を終え、一斉掃除の際にゴミと一緒に回収する。

草刈り機の新規購入も含めて具体的に検討することになった（自治会の草刈り機は 1 台）。

【行事部】

さくら山王夏祭りの総括を行った。アンケート結果の報告があった。

夏祭り参加者の 7 割、不参加者の 3 割が、来年も夏祭りを継続してほしいとの回答結果。

参加した子供たちからの声として、夏祭りは非常に楽しかったと好意的な意見が多かった。

一方、夏の時期は暑すぎるため、その時期を避けてもいいのではないかと意見もあった。

行事部では来期の担当者にこの結果を引き継ぎたいと考えているが、行事部員 9 人（昨年 11 名）とその部員家族も巻き込んで準備・実施をすることになった。行事部としては大変な作業であった印象を持っている。夏祭り実行委員会の協力もあったが、実質的にあまり機能しなかったと思う。

（意見）

- 夏祭りが行われる時期に自治会としてやらなければいけないことが多く、時期をずらすなどの検討が必要だと思う。
- 夏祭りは自治会として一番大きなイベントであるため、行事部だけが担うものではなく、自治会員全体で準備・運営が行える仕組みを検討する必要がある。

【会長より】

現状の各班の会員数について説明があった。

班員数が 12 名-13 名の班がある一方、28 名の班もある。

班員数が少ない班では、班長の役が早く回ってくる。班長を避けたい理由から、退会などネガティブな行動に繋がっているような気がする。班員数のばらつきを整えるには、班員数の少ない班の統合などを検討することも必要かも知れない。班の統合については、班長からの申し出があってから班長会で決議される流れとなっている。

【まちづくり委員会】

（敬愛大学跡地について）

一年間の造成工事が始まるにあたり造成工事担当のアイテックより説明会が行われる。その背景となる残土条例について説明がされた。条例に基づいて半径 100m 圏内の 70 世帯にてアイテックが説明会を実施し、施工実施のために当該住民から承諾書を得る手順となっている。10 月 19 日に説明会が集会所で実施される。

（物井駅前ロータリーの開放）

行政によるロータリーの現地確認は車の少ない時間帯となったこともあり、四街道市の担当者が車の多い時間帯に再度現地することになった。四街道市は前向きに検討する様子が見えてくる。

（鳩対策）

物井駅の鳩対策についても四街道市が管轄で、対策に取り組んでいただいている。さらなる対策を講じていくとの話である。

（山王周辺の道路事情の改善）

岩富寺崎線の延伸については土地の入手に行き詰まっており、大篠塚や小篠塚の自治会とも一緒に取り組んで活動を盛り上げていきたいと考えている。

（山王 2 丁目道路の街路樹剪定）

成長して大きくなっており、剪定が必要である。市役所は今年度予算での剪定を予定している。街路樹剪定は行政による剪定期間が 5 年以上と伸びる傾向となっており、自治会として街路樹の在り方などを具体的に検討して、市役所と協議したいと考えている。そのための実態調査を検討している。

【会長より】

来年 4 月の定時総会に向けて、議案書準備のタイムラインやプロセスについての説明があった。3 月の班長会に議案書を班長に配布するためには、2 月末から 3 月上旬には議案書の印刷が上がり、2 月の班長会では議案内容の確認をしなければいけない。その確認までに 3 回の班長会があるので、議案内容を詰めていく必要がある。総務部は 4 月の定時総会の日程を山王小学校と調整してください。議案書の構成については、1 号議案の「活動報告・計画と方針」、2 号議案「会計報告、会計監査報告」、3 号議案「予算案」、4 号議案「各議題など」。各部で用意するテンプレートに活動報告をまとめ、来年の活動計画と方針をまとめる作業をお願いしたい。定時総会は土曜日に実施する慣例なので、午前中に準備、午後 1 時から 2 時間かけて総会を実施という流れの一日作業となる。

【SWOT 分析について】

前回の役員会で実施された SWOT 分析のまとめについて説明があった。

このあと、検討課題として、「班長の選任、役員の選任、活動団体への助成、住民が集う場」について 20

分程度グループに分かれて議論を深めた（グループワーク）。

（グループ発表）

班長の選任について

- 輪番制により、毎年班長が変わることで運営が大変であるのは理解できるが、今まで通り輪番制にしておくことが良いと考える。
- 役員会や班長会を短縮することが必要ではないか。書面で済むような内容は事前に書面を送るなり、議論が必要な事項を厳選して、会議を効率化することが必要だと考えている。役員としての役割があるから、そもそも班長をやりたくないということになるのではないか。
- 合併した班であれば、班長/副班長制度の2人体制で運営し班長会に出る案があった。つまり班長が翌年副班長になるために、2年の活動となる。それにより業務の継続化が可能なのではないか。

役員の選任について

- 複数年の役員を行なってくれるような方は希少。なかなか出てこないのではないかと、役員をやる方は班長を免除することにすれば負担軽減ができるのではないかと。
- 役員の経験や知見が蓄積されない問題については、複数年にすることで解消されるが3年という任期であるとマンネリ化するのではないかと。
- 役員を継続してできる環境にはないのではないかと。時間の拘束が長い。土曜日の時間帯などを検討する必要があるのではないかと。会議形態も工夫する必要がある。例えばリモート会議で日中以外の時間で開催するなど。会議やコミュニケーションの効率化を図ることで、時間拘束の負担軽減などをすれば、役員を継続していくモチベーションになると考える。

その他

- 自治会員としてのメリットが非会員に伝わっていないのではないかと。メリットを感じられるような運営をする必要があるのではないかと。
- 非会員の世帯にもある程度の金銭的負担をしてもらう必要はあると考えている、例えばゴミネット購入費用など。

自治会運営については、さまざまな課題があることを毎年度認識、議論しながら、対策や解決ができないまま時間経過している。各チームの議論で出たアイデアや意見などをまとめて、チャレンジしたい。変えるところは変えないと今後も引き続き解決されないまま議論だけをしていくことになる。例えば先ほどの話で、役員会班長会を簡素化するとか、役員と班長の役割を明確に分けたり、班長の選任についてはもっと柔軟な対応を試みたり、役員をやっていただけるのであればその方に専任になっていただいたり、非会員に自治会リターンキャンペーンなどを実施して自治会員になることのメリットを打ち出す、一緒にコミュニティを形成するようなメッセージを打ち出していくことが必要だと感じている。

以上